

令和3年1月31日発行

第 113 号

編 集

山本学区社会福祉協議会

広報委員会

☎874-8218

# 山本学区社協

## 全国社協表彰

受賞の喜び

### 日本社協のまじびつ

山本学区社会福祉協議会

会長 小嶋嘉徳



昨年11月中旬、社協本部より県内唯一山本社協が、「優良活動表

彰」を受賞することとなりました。この受賞は、歴代の会長を始めとして役員及び構成団体の協力、また各自治会の皆さまのご理解とご支援の賜物と、感謝申し上げます。

山本学区社協は昭和33年に、「山本地域連絡協議会」として発足。昭和55年に広島市が政令指定都市となつてからは、宅地造成・道路整備などの利便性もあり人口の増加が続いております。

以前、地域の課題として未就学児を持つ親からの声かけもあつてサークル活動が立ち上がり、そこから山本社協の支援が始まりました。

平成3年には、学区の三つの子育てサークルが一緒になって「山本学区子育てサークルふれあい運

動会」を開催されました。

当初は地元の山本ちびっこ広場を会場にして、同公園でゲートボールをしていたお年寄りの参加もありました。最盛期には六つの子育てサークルが一緒になり、学区諸団体の参加を得て祇園西公民館の体育館で開催していました。

近年、共働きの世帯が増えたことと、未就学児でも利用可能な保育園・幼稚園が開設されたことで



サークル参加者自体減少傾向にありますが、高齢者主体のいきサロ

ンに子育てサークルを招いてクリスマス会をして地域の多世代交流を大切にしています。山本学区においては現在も人口(1万3037人)・世帯数(5451戸)と増加しており安

増加しつつあります。一人暮らしの人や高齢者だけの世帯が多く見受けられます。地域社会を共に支え合える社協として活動してまいります。



## 表彰状

山本学区社会福祉協議会 贈

貴会は社会福祉に関する活動が特に優秀であり他の範とするものでありますよってここに表彰いたします

令和二年十月十三日

全国社会福祉協議会

会長 清家 篤



「出会い・ふれ合い・支え合い」を合い言葉に安心・安全なまちづくりを努力してまいります。

地域の皆さまには山本学区社会福祉協議会にご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

# 迎春



## 新年のごあいさつ

山本学区社会福祉協議会

会長 小嶋 嘉徳

### 新年あけましておめでとうござります

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は社会福祉協議会の学区福祉事業に対し、温かいご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

役員一同感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症によりかつて経験したことのない多大な影響を受けました。社協では、敬老フェスティバルの中止を始めとして、構成団体の行事もほとんど出来ない年になりました。私も子ども社会福祉協議会は、誰もがその地域で安心・安全に暮らせる地域社会を目指しています。今年、学区での仕組みづくりにより、構成団体のご協力を得ながら取り組んでまいります。

また山本社協では、六つの委員会で構成しております。

#### ・福祉活動委員会

いきいきサロンを開設して一人暮らしの方や、高齢者の閉じこもりがちな方などに呼びかけ、近くの集会所や公民館で食事したり、お茶を飲みながら交流し、楽しく過ごせる時間と居場所を提供してまいります。多くの方の参加をお待ちしております。

#### ・ボランティアバンク運営委員会

地域にお住まいの高齢者、身体が不自由でご不便を感じの方などに、少しでもお役に立てるよう、ボランティアバンクを開設しております。毎週水・金曜日9時から11時。電話をお待ちしております。

TEL 874-8422

#### ・まちづくり委員会

山本で活動している各種団体が集結して、安心・安全で住みよいまちづくりのために皆で情報交換をして活動しています。

#### ・ICT委員会

インターネットによる情報発信活動をしていきます。タブレット端末を活用して、コロナ禍のなかでも情報交換を展開していけるネットワークづくりをしています。

#### ・総務委員会

山本の各種団体の行事・スケジュールをコミニティーカレンダーに載せて毎月発行配布しています。

#### ・広報委員会

広報紙「社協やまもと」を年2回発行。この一年の社協・構成団体の主な活動内容を記載しています。

役員一丸となって、なお一層の活動をしてまいります。

皆さまにおかれましては、より一層のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。一日も早いコロナウイルス感染症の終息と、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますようお願いいたします。

令和3年が皆様にとって幸多き年になりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

## タブレット端末について

広島市の「高齢者いきいきポイント事業」の一環として、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、ポイント事業参加者が外出困難な状況下におかれてもオンラインの活用によって継続して活動が出来るよう、広島市の協力でタブレット端末の導入を進めています。この端末は、今後「新しい生活様式」の下で、防災情報の伝達や各団体との相互の連絡調整など、幅広く活用できるものと思っております。

また、タブレット端末を使って、『いきいきサロン』や『百歳体操』の情報交換など幅広く役立てていきたいと思っております。



### 社協のHPはこちらから

URL

<https://www.com-net2.city.hiroshima.jp/yamamoto/index.php>

QRコード



# 2020年度 『いきいきサロン』活動報告

福祉活動委員長 小堀 昭 男

毎月第4土曜日、10時から12時まで、祇園西公民館か山本集会所のいずれかで実施しています。

「高齢者いきいき活動ポイント事業」の影響、人と話ができる、活動内容が楽しいなどの理由で、参加されています。

内容は、健康体操、歯みがき講習、認知症や詐欺の問題等の研修、折り紙、組み絵の作製、頭の体操、ギター伴奏による歌、昼食会などです。

参加者が、「きてよかった」「楽しい」「また、参加したい」と思えるような『いきいきサロン』にしたいと思っています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が流行し、感染防止のため、2月22日(土)に実施以後、3月から8月まで中止しました。

参加者には、3月、5月、6月、7月、11月に、「中止の案内」、「場所の変更のお知らせ」のはがきを出しました。

コロナウイルスの感染状況、他学区社協の『いきいきサロン』の実施状況など把握する中で総合的

に判断し、9月、10月、11月に実施しました。参加者は、20人から23人でした。

半年ぶりの『いきいきサロン』でしたが、みなさん、元気で参加され、笑顔を見ることができました。

参加者から「楽しみにしとったんよ」と言われたとき、コロナウイルス感染症の影響の大きさと、『いきいきサロン』の持つ意義の大きさを実感しました。

活動内容は、健康体操、感染症予防についての話、脳トレニング、社協についての話などをし、一時間程度で終了し、お弁当は持って帰ってもらいました。12月は、広島市のコロナウイルス感染者が急増したため、中止にしました。それ以後は、未定です。

祇園西公民館、山本集会所以外で実施しているのが、もみじ祭りへの参加と花見の会です。

昨年は、もみじ祭りが中止になりました。

「花見の会」は、毎年、実施していますが、2021年は、4月3日(土)に第三東亜ハイツの集会所、公園で行う予定です。

第二東亜ハイツの『いきいきサロン』も、第2土曜日の午前中に活動を継続されています。

多くの方の参加を募ることと同時に、山本学区の中に新たな『いきいきサロン』を立ち上げる取り組みをする必要があると思っています。

## 『いきいき百歳体操』 実施にむけて

福祉活動委員長 小堀 昭 男

『いきいき百歳体操』は、2002年、高知市が介護予防のために開発した錘(おもり)を使った筋肉運動の体操です。筋力をつけ、いつまでも元気で過ごせる体をつくります。

広島市祇園・長束地域包括支援センター(以後、包括センター)から実施依頼の話を受け、2年前の2018年10月31日(水)、山本協、包括センター共催で、第1回目を山本集会所で実施しました。参加者は、33人でした。当日の進行は、『いきいき百歳体操』のDVDの映写機器の準備、映写、講師の派遣等、すべて包括センターの方にやっていたいただきました。それから2年が経過し、昨年の11月27日(金)、1回目と同様の形で2回目を実施しました。参加者は、21人でした。

コロナ禍の中、多くの人に参加していただいたと思っています。「外に出て、みなさんといっしょに、体を動かして、元気になりたい」という参加者の思いを推し量ることができました。今後は、山本協が主体となつて、包括センターと連携しながら実施していきます。今後は、山本集会所で、毎週、水曜日、午前10時から11時半に実施を予定しています。参加費は、無料。定員先着30名。多くの方の参加をお待ちしています。



# 花火大会



ドン、ドーン、パツ、パツ、庭に出た。

音のする方を見たがマンションで見えない。

広い道路に向かって歩いた。

コンビニの駐車場に五、六人の人が集まっていた。

その人達と同じ方向を見た。

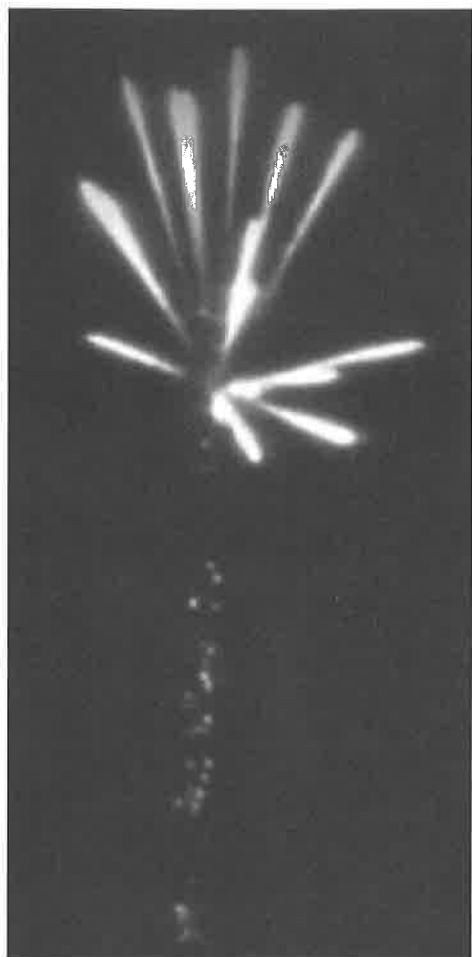
ドン、ドーン、パツ、パツ、見上げる先に大輪の花が咲いた。

コロナ禍により地域の行事が軒並み中止になる中、8月29日(土)山本社協、春日野社協、並びに各種団体の協力の下「コロナを吹き飛ばせ!!花火大会」を行いました。



献身的に頑張つて下さっている医療関係者の皆さん、外に出る機会を減らしておられるお年寄りの皆さん、これまでの日常が日常でなくなつた今、それぞれの方がそれぞれの場所ですれぞれの思いをもつて、10分足らずの短い時間でしたが、春日野の夜空に上がる花火を愉しんでいただいたと思います。

広報委員長 古川 宗夫



## 安心ネット山本

「安心ネット山本」

運営委員会 小嶋 嘉徳

山本学区では、まだまだ人口の増加が続く若い方の移住者が多く見受けられます。しかし人口増加の中にあつても高齢化は進み、一人暮らしや高齢者だけの世帯が多くなり、みられるようになりました。

「安心ネット山本」は、高齢者の見守りネットワークの充実を図るために、見守りを希望されている高齢者に近隣の人達で声をかけて見守りを行いお互いに支え合える地域を目指して展開していくネットワークづくりです。社協・自治会・民児協・近所さんが一体となって高齢者に対して、声かけ・見守りをおこないます。ともに支え合う地域づくりを行っていくことで安心して生活できるようにする取り組みです。

昨年山本学区で65歳以上の方は2712人(内75歳以上1413人)と年々増加しており、関連して見守り希望の方も増えています。昨年10月、見守り協力員さんを対象に、福場琴美氏を講師に迎え、認知症サポーター養成講座を開き

ました。認知症の方とのコミュニケーションには、☆三つのない(驚かせない・自尊心を傷つけない)が大切。もし、不安そうなお様子の高齢者がいたら是非、声をかけてください!



「認知症になつても安心して暮らせる町、地域」づくりが出来れば良いと思います。

(福場先生談)

### 見守り協力員さん募集!

見守り協力員さんの役割とは、  
① 月に一回程度、本人と顔を合わせたり、電話で話すなど、変わらなく過ごしているか、見守ってください。

② 見守り対象者が普段とは様子が違うなど、心配な様子があれば、地域包括支援センターや各団体に連絡ください。

③ 地域包括支援センターに月に一回「見守りカード」の報告をお願いします。

見守り協力員に関心のある方は、広島市祇園・長東地域包括支援センター(875-0511)までご連絡ください。

# 山本の歴史と 保勝会の活動

武田山・火山史蹟保勝会

代表世話役 一同

本会は山本小学校を昭和25年卒業の有志により、郷土の歴史を愛しみ悠久に伝えることを目的に平成17年に設立されました。

現在は卒業生を中心に在住の方々と共に20名のメンバーで活動しています。

「保勝会」という言葉は、昭和15年に設立され、30年代前半まで活動のあった「山本村史蹟保勝会」に順応したものです。

本会の活動内容は、まずは「勉強会」です。山本及び周辺地区の歴史を勉強します。この結果を基に「調査」や、「探訪会」を開催します。



講演会

さらに高い知識を得るために有名な先生をお招きして毎年一回「講演会」を開催しています（昨年はコロナ禍のため中止しました）。

今までに講演

して頂いた先生方には、現在NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の建築考証で字幕に名前が出る、広大名誉教授の三浦正幸先生もおられます。その時の講演で示された「武田山・守りの絵図」は山本小学校のテキストに採用され、末永く語り継がれる事となりました。講演会の数は令和元年までで、計160回を数えています。

さらに本会が行っている活動は、山本小学校6年生児童に対する古墳、武田山の案内です。児童数約160名の5クラスが対象です。



武田山山頂にて

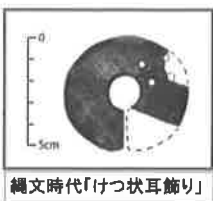
行事完了後の感想文により「こんな歴史が山本にあったのか」「お父さん、お母さん、後輩にもぜひ伝えたい」といった感動した言葉が伝わってきます。彼らが将来山本の歴史を伝える

担い手になってくれるものと、大きな、やりがいを感じる活動の一つです。

ではここで、今までに述べた活動の中から我々が得た山本の歴史について述べてみましょう。

縄文から近代までを眺めてみますと、素晴らしい歴史が次々と浮かび上がってきます。

まず、最初は縄文時代の「耳飾り」が山本七丁目バス停上の「寺山遺跡」から出土しています。直徑五センチの石で出来たものです。



縄文時代「けつ状耳飾り」

この地方では唯一、これしかなく、これを見るのは初めての方が多いのではないかと思えます。山本にも美しい人がいた。この人の末裔はあな

たかも。弥生時代には「弥生住居跡」が「寺山遺跡」から出土しています。

古墳時代には、「空長古墳」(第三東亜ハイツ)から石棺が出土しました。そして、山本にはまだ三つの古墳が現存します。

飛鳥時代に入ると「寺山遺跡」のすぐ下にある「光見寺跡」から「軒丸瓦」が発見され、寺院が存

在したことを裏付けています。

山本の後ろにそびえ、今に伝わる「火山」の「神武天皇烽火伝説」もこの頃の話とされます。

また、この時代には大陸からの攻撃を防ぐために大宰府と大和を結ぶ「古代山陽道」が設置されました。

これが山本を通過し、駅家もあつたという「山本ルート説」を、小字(こあざ)地名などを基に、専門の先生と立ち上げ、安佐南区全公民館共同作成の案内書「古代山陽道 安佐南区散策マップ」に載せました。これは国立国会図書館にも登録され、本会はその足跡を残すことができました。

それから鎌倉時代に入って武田氏が守護職(今の県知事)として任命され(1221)、武田山に銀山城を構え320年にわたり統治することとなります。

そして、室町時代に入ると毛利氏が勢力を増し、「平山八幡神社」にある「棟札」には「武運長久、国家安全」と元就の直筆で長男・隆元を励ましています。大棟(屋根)には毛利氏の家紋があります。

これらの歴史を掘り起こし、後世に伝え、活用していく、これが本会の目指すところです。

(文責 古川武司)

### 公衆衛生推進協議会

会長 森 本 勝 義

公衛協の活動は、地域環境美化の一環として、連合自治会・社会福祉協議会その他団体と協賛して秋の一斉清掃の実施、また、健やかで生きがいのある日常生活を過ごしていくための健康教室の開催です。

令和2年7月28日(火)に講師を招いて「乳がん・コロナ感染予防」の講演会を実施しました。

### 施設見学について

令和2年11月20日(金)に広島市環境事業局中工場(焼却場)で各自治会・公衆衛生委員の方々に中心に視察研修を実施しました。



コロナ禍の中ではありましたが22名の参加を頂きました。焼却場とは思えない清潔さに感動しました。

### 献血のお礼

山本学区献血推進協力会

令和2年12月5日(土)、山本小学校グラウンドで山本公衛協・山本社協・城北ライオンズクラブの主催による、恒例の「献血助け合い運動」を実施しました。スタッフも街頭に立ち協力の呼びかけをしました。コロナ禍の中にも拘わらず地域の皆様85名参加の方から78名の善意の献血をいただき感謝申し上げます。



また山本小学校・山本幼稚園のご協力を得て、児童・園児の各家庭にチラシを持って帰ってもらい献血の呼びかけをしました。



### 「コロナ禍の避難所開設」山本学区自主防災会連合会

会長 岡 野 康 紀

日頃より、自主防災会活動にご理解、ご協力を賜り、感謝申し上げます。全国的に新型コロナウイルス感染症が広がる中、広島市でも深刻な状況になりつつあります。そんなコロナ禍にありながらも、自主防災会の活動のひとつに避難所開設・運営活動があります。指定緊急避難場所である山本小学校体育館の解錠、避難者の受け入れ準備を進め、市職員と共に滞在場所に誘導し適切に対応します。

あわせて、避難者一人一人が災害リスクに応じ適切な避難行動をとられることで、避難所における密集を防ぐなど、感染拡大防止につながります。自主防災会では、入梅前に(事前の備え・避難所の過ごし方・知っておくべきポイント)を回覧板にて案内させていただきました。

昨年は7月6〜8日に大雨による避難勧告発令にて避難所を開設。延べ、30世帯62名の方が避難して来られました。コロナ禍の中での初めての開設でしたが皆さんの協力もあり、幸いにして体調を崩さ

れる方もなく無事閉鎖できました。

### 表彰おめでとうございます

里山環境保全みどり会 安佐南区区長賞を受賞

令和2年10月19日、里山環境の整備や河川等の清掃活動により地域の生活環境を向上させるとともに世代間が交流する事業や小学校と連携した自然体験学習の実施などにより子供たちの健やかな成長に寄与したことに対し、安佐南区長より表彰されました。



### 法務大臣表彰

谷 本 弘 之

このたび、更生保護施行70周年記念の全国大会において、保護司としての長年の功績がみとめられ表彰されました。

### 安佐南区社会福祉協議会

会長表彰 佐 伯 輝 夫  
会長表彰 住 岡 千 賀 子